

特別成果加算(無罪等)請求書 <被告人用> (書式4-A① 2024.4月版)

弁護士 _____ (登録番号 _____) 提出日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

事件番号: _____ 年(_____)第 _____ 号 被告人名: _____ (

下記の事由がありましたので、特別成果加算(無罪等)報酬を請求します。
 判決書の写しなど、公訴事実又は刑の減免事由の不存在を争ったこと
 (少年法第55条に基づく家庭裁判所への移送を主張したことを含む。)
 を疎明する資料を添付します。

・該当する口にチェック

全部 無罪	<input type="checkbox"/> 公訴事実を争った <input type="checkbox"/> 判決主文において公訴事実の全部について無罪が言い渡された。
一部 無罪	<input type="checkbox"/> 公訴事実を争った <input type="checkbox"/> 判決主文において公訴事実の一部について無罪が言い渡された。 ※公訴事実中、無罪となった部分を記載。
移送	<input type="checkbox"/> 少年法第55条に基づく家庭裁判所への移送決定がされた。
縮小 認定等	<input type="checkbox"/> 下記①～④について公訴事実(刑の減免事由)を争い、争点になった。 (争った時期や内容等、詳細を以下に記載) 詳細 (_____)
	<input type="checkbox"/> ①法定刑に死刑がある罪に係る公訴事実に対して、判決で法定刑に死刑がない罪に係る犯罪事実が認定された。
	<input type="checkbox"/> ②法定刑が死刑又は無期懲役のみである罪に係る公訴事実に対して、判決でそれ以外の罪に係る犯罪事実が認定された。
	<input type="checkbox"/> ③法定刑に死刑又は無期若しくは短期1年以上の懲役若しくは禁錮の定めがある罪に係る公訴事実に対して、判決で、それ以外の罪に係る犯罪事実が認定された。
	<input type="checkbox"/> ④判決理由において刑の減免事由に該当する事実が認められ、法令の適用において刑の減軽がされた。/刑の免除が言い渡された。 ※「刑の減免事由」とは、法律上の刑の減軽又は免除がなされる事由をいう。酌量減軽のみがなされた場合は加算対象とはならない。
【判決理由において認められた刑の減免事由をチェック】 <input type="checkbox"/> 心神耗弱 <input type="checkbox"/> 自首 <input type="checkbox"/> 従犯 <input type="checkbox"/> 過剰防衛 <input type="checkbox"/> 過剰避難 <input type="checkbox"/> 中止未遂 <input type="checkbox"/> 障害未遂 <input type="checkbox"/> 法律の不知 <input type="checkbox"/> その他(_____)	